

平成29年度 経営支援事例報告書


【テ - マ】

支援区分	経営革新
支援テーマ	多品種少量生産体制の構築と生産性向上に向けた施策提案

【企業の概要】

名称	株式会社田中製作所	創業年	1965年
代表者	田中 道男	業種	金属製品製造業
商工会	鳥取市西商工会	(取扱い商品等)	金属製部品

【支援の概要】

1. 相談の経緯 <p>地域を代表する中堅企業で、定期的に巡回訪問を繰り返している。企業努力が実り受注が急増している中、「技術の継承や人材確保難への焦り」が同社からの相談の発端だった。既に汎用性の高い産業用ロボット取得による生産性向上という方向性は明確だったことから、計画の策定、施策提案を二本柱に支援を開始した。</p>	
2. 経営課題 <p>国内外との競合の中で、「ものづくり力」を高める必要があり、①製造技術の一層の高度化、②受注増加で顕在化している人手不足対応、③製造コスト削減が喫緊の課題になる。同社は、工程の自動化を推進し、人員の再配置を図ることでコアな製造技術を若手社員に伝承させ、品質向上とコスト削減を両立させる取組みが必要になっている。</p>	
3. 支援内容 <p>○現状分析……経営環境の把握、改善に向けた構想の明確化と支援ニーズのヒアリング。 ○目標設定・アクションプラン策定……社内に様々な取組構想があることを踏まえ、各構想を全社計画として包括し、経営力向上計画として取り纏める策定支援を行った。 ○鳥取県版経営革新総合支援補助金の活用支援……補助金は産業用ロボット取得費に充当。(策定した5つのアクションプランの中で産業用ロボット取得費の補助金活用支援を実施した)</p>	
4. 支援の成果 <p>○顕著な生産性向上効果 コスト・品質・リードタイム短縮(効果は右の表に記載) ○「段取り替え」の多い工程のロボット導入効果を実証した ○工程省人化(3名が1名)で、ベテラン社員の注力分野への配置転換を実現した</p>	5. 成果物等の写真 <p>【小型高速組立ロボット】</p> 
6. 事業者の声 <p>以前から念願だった多品種少量生産工程への産業用ロボット導入を実現した。制御の自立性が高い反面、機器の初期設定は困難を極めたが、反復改善で当初の目標を達成した。こうした試験的な取組みに対し直接的な支援は大変有難く、当社としては今後も一層の生産性向上につなげていきたい。</p>	

【報告者】

センター	東部商工会産業支援センター	担当者名	豊岡 英俊
------	---------------	------	-------